

(別添2)

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-1	2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリン	小児例から成人例のニーマン・ピック病C型(NPC)の神経機能改善効果に基づく治療	静注点滴により、(2,400mg/Kg体重×2)/週	NPO 神戸市難病団体連絡協議会	Roquette Corporate	A	小児WG(代謝・その他WG)
II-2	2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリン	小児例から成人例のニーマン・ピックC型(NPC)の神経機能改善効果に基づく治療	静注点滴により、(2,400mg/Kg体重×2)/週	NPO 神戸市難病団体連絡協議会	CTD Inc. (米国)	A	小児WG(代謝・その他WG)
II-3	2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリン	小児例から成人例のニーマン・ピックC型(NPC)の神経機能改善効果に基づく治療	髄腔内注により、175mg～875mgを隔週に投与	NPO 神戸市難病団体連絡協議会	Roquette Corporate	A	小児WG(代謝・その他WG)
II-4	2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリン	小児例から成人例のニーマン・ピックC型(NPC)の神経機能改善効果に基づく治療	髄腔内注により、175mg～875mgを隔週に投与	NPO 神戸市難病団体連絡協議会	CTD Inc. (米国)	A	小児WG(代謝・その他WG)
II-9	A型ボツリヌス毒素	顔面神経麻痺後に生じる後遺症である顔面拘縮や病的共同運動の軽減	麻痺後の表情筋の異常運動に対し、本剤を10-30単位程度、表情筋に局注する。	日本耳鼻咽喉科学会	グラクソ・スミスクライン株式会社	B	精神・神経WG
II-11	アセチルシステイン	IPFとIPF以外の線維化型間質性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎に対する線維化の進行抑制、肺活量の減少抑制。	1日2回、352.4mg (2ml) × 2/日 生理食塩水に溶解し、ネブライザーを用いて連日吸入する。	日本呼吸器学会	サンノーバ株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-15	アジスロマイシン水和物	びまん性汎細気管支炎や慢性気管支炎に伴うクラリスロマイシン不応性の難治性気道感染症	1日1回、250mg/日 週3回服用する。	日本呼吸器学会	ファイザー株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-18	アナキンラ anakinra	高IgD症候群の治療	1-5mg/kg/回、毎日皮下注	個人	SOBI	A	小児WG(抗菌・抗炎症WG)
II-26	アリピプラゾール	せん妄	通常、成人にはアリピプラゾールとして1日6～12mgを開始用量、1日6～24mgを維持用量とし、1回又は2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は30mgを超えないこと。	日本精神神経学会	大塚製薬株式会社	B	精神・神経WG
II-29	イソトレチノイン isotretinoin	神経芽腫(高リスク)	160mg/m ² /day 分2 経口投与 14日間投与し14日間休薬 28日を1サイクルとして繰り返す。	日本小児血液学会 日本小児がん学会 (一部、日本臨床腫瘍学会を含む)	中外製薬株式会社	A	抗がんWG(小児WG)
II-35	イホスファミド	悪性リンパ腫(初発例、再発・難治例を含む)	(1) 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、イホスファミドとして1日0.8g/m ² ～3g/m ² (体表面積)を3～5日間連日点滴静注する。これを1コースとし、末梢白血球の回復を待って3～4週間ごとに反復投与する。なお、年齢、併用薬、患者の状態により適宜減量する。 (2) 総投与量はイホスファミドとして1コース10g/m ²	リンパ網内系学会	塩野義製薬株式会社	B	抗がんWG
II-42	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ベーチェット病以外の難治性非感染性ぶどう膜炎	1回につき5mg/kgを、初回投与以降、2週目、6週目、14週目、以降は8週間隔で継続投与	財団法人 日本眼科学会	田辺三菱製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-43	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	移植片対宿主病(GVHD)	5mg/kgを点滴静注、1コース3回(初回、2週後、6週後)	日本造血細胞移植学会	田辺三菱製薬株式会社	B	代謝・その他WG

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-49	エノキサパリンナトリウム	静脈血栓塞栓症の発症リスクの高い、腹部手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制	通常、エノキサパリンナトリウムとして、1回2000IUを、原則として12時間毎に1日2回連日皮下注射する。 用法及び用量に関連する使用上の注意:原則として、手術創等からの出血がないことを確認してから投与を開始すること。区域麻酔を併用する場合は術後2~4時間以降に投与する。 ※用法及び用量に関連する使用上の注意の「術後24~36時間に」の削除	公益社団法人 日本産科婦人科学会	サノフィ・アベンティス株式会社	B	循環器WG
II-60	オランザピン	せん妄	通常、成人にはオランザピンとして5~10mgを1日1回経口投与により開始する。維持量として1日1回10mg経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日量は20mgを超えないこと。	日本精神神経学会	日本イーライリリー株式会社	B	精神・神経WG
II-61	カナキヌマブ	高IgD症候群の治療	2~7 mg/kg/回、4~8週間毎皮下注	個人	ノバルティスファーマ株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症WG)
II-65	ガンシクロビル	先天性CMV感染症	点滴静注 6 mg/kg/回 x 2回/日 x 6週間	日本小児感染症学会	田辺三菱製薬株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症WG)
II-66	ガンシクロビル	サイトメガロウイルス虹彩炎に対する消炎効果	一日4回点眼	財団法人 日本眼科学会	該当企業無し	B	抗菌・抗炎症WG
II-70	クエチアピン	せん妄	通常、成人にはクエチアピンとして1回25mg、1日2又は3回より投与を開始し、患者の状態に応じて徐々に増量する。通常、1日投与量は150~600mgとし、2又は3回に分けて経口投与する。 なお、投与量は年齢・症状により適宜増減する。ただし、1日量として750mgを超えないこと。	日本精神神経学会	アステラス製薬株式会社	B	精神・神経WG
II-94	ザルトプロフェン	歯痛	成人に1回1錠(ザルトプロフェンとして80mg)1日3回経口投与。頓用の場合は、1回1~2錠(ザルトプロフェンとして80~160mg)を経口投与。	日本歯科薬物療法学会	日本ケミファ株式会社 ゼリア新薬工業株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-95	シクロスポリン	IPFとIPF以外の線維化型間質性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎に対する線維化の進行抑制	1日2回、50-200mg/日 トラフレベルを100-150ng/mlとなるように連日服用する。	日本呼吸器学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-100	シドフォビル	喉頭乳頭腫症	生理食塩水で溶解し、2.5mg/mL溶液を乳頭腫の基部に注入する。病変に応じて適宜繰り返す。	日本耳鼻咽喉科学会	Gilead社(米国)	A	小児WG(抗菌・抗炎症WG)
II-101	シドフォビル	造血細胞移植後のアデノウイルス感染症、BKウイルス感染症	1 mg/kgを週3回(または5 mg/kgを週1回)	日本造血細胞移植学会	Gilead社(米国)	A	抗菌・抗炎症WG
II-102	シドフォビル	ポリオーマウイルス腎症	0.25~1.0mg/kg、1週から3週に1回点滴静注	日本移植学会	Gilead社(米国)	A	代謝・その他WG
II-106	シロリムス	移植片対宿主病の予防・治療	4~12mg/日(血中濃度が3-12ng/mlとなるよう用量を調整する)	日本造血細胞移植学会	ファイザー株式会社	A	代謝・その他WG
II-108.1	スニチニブリンゴ酸塩	悪性褐色細胞腫	通常、成人にはスニチニブリンゴ酸塩として1日1回50mgを4週間連日経口投与し、その後2週間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。	褐色細胞腫を考える会	ファイザー株式会社	B	抗がんWG

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-108.2	スニチニブリンゴ酸塩	悪性褐色細胞腫	通常、成人にはスニチニブリンゴ酸塩として1日1回50mgを4週間連日経口投与し、その後2週間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。	個人	ファイザー株式会社	B	抗がんWG
II-108.3	スニチニブリンゴ酸塩	褐色細胞腫(傍神経節細胞腫を含む)	通常、成人にはスニチニブリンゴ酸塩として1日1回50mgを4週間連日経口投与し、その後2週間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。	社団法人 日本内分泌学会	ファイザー株式会社	B	抗がんWG
II-115	ダカルバジン	軟部肉腫に対する抗腫瘍効果	250mg/m ² /day 4日間点滴静注以後約3週間休薬	特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会	協和発酵キリン株式会社	B	抗がんWG
II-117	ダクリツマブ	急性移植片対宿主病の治療	1 mg/kg (1時間点滴)で1回/週を4-5回継続する。	日本造血細胞移植学会	中外製薬株式会社	A	代謝・その他WG
II-118	タクロリムス水和物	小児 ループス腎炎	小児:0.05-0.1 mg/kg 最大3 mg/日 1日2回投与	小児腎臓病学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(代謝・その他WG)
II-119	タクロリムス水和物	ステロイド点眼抵抗性の難治性強膜炎	0.1%タクロリムス点眼(タリムス®) 1日2回、1滴点眼	財団法人 日本眼科学会	千寿製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG(小児WG)
II-120.1	タクロリムス水和物	小児期発症ネフローゼ症候群(頻回再発型)	0.05-0.1 mg/kg/日 分2投与	小児腎臓病学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(代謝・その他WG)
II-120.2	タクロリムス水和物	小児期発症ネフローゼ症候群(頻回再発型)	タクロリムスとして0.05-0.1mg/kg/日を1日2回使用する。	東京「腎炎・ネフローゼ児」を守る会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(代謝・その他WG)
II-121.1	タクロリムス水和物	小児ネフローゼ症候群(ステロイド抵抗性)	0.05-0.1 mg/kg/日 分2投与	小児腎臓病学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(代謝・その他WG)
II-121.2	タクロリムス水和物	小児ネフローゼ症候群(ステロイド抵抗性)	タクロリムスとして0.05-0.1mg/kg/日を1日2回使用する。	東京「腎炎・ネフローゼ児」を守る会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(代謝・その他WG)
II-122	ダビガトランエテキシラートメタン スルホン酸塩	静脈血栓症・肺塞栓への治療	150mg 1日2回	特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	B	循環器WG
II-143	トリアムシノロンアセトニド	非感染性後部ぶどう膜炎および嚢胞様黄斑浮腫の治療、あるいはステロイドが全身投与できない非感染性ぶどう膜炎や強膜炎	40mg をテノン嚢内注射	財団法人 日本眼科学会	ブリistol・マイヤーズ株式会社 わかもと製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-144	トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え)	造血幹細胞移植後の肝類洞閉塞症候群(肝中心静脈閉塞症)	380 U/kg/日	日本造血細胞移植学会	旭化成ファーマ株式会社	B	循環器WG
II-145	ニトログリセリン	異常高血圧(高血圧緊急症等)	0.5~5 μg/kg/分の投与量で開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。	公益社団法人 日本麻酔科学会	日本化薬株式会社	B	循環器WG
II-151	バシリキシマブ	下記のような場合の心臓移植後の拒絶反応の予防並びに治療(小児) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	小児 体重35kg以上では20mgを、35kg未満では10mgを、移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)
II-152	バシリキシマブ	下記のような場合の肺移植後の拒絶反応の予防並びに治療(小児) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	小児 体重35kg以上では20mgを、35kg未満では10mgを、移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-153	バシリキシマブ	下記のような場合の肝臓移植後の拒絶反応の予防並びに治療(小児) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	小児 体重35kg以上では20mgを、35kg未満では10mgを、移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)
II-154	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	下記のような場合の小腸移植後の拒絶反応の予防並びに治療(小児) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	小児 体重35kg以上では20mgを、35kg未満では10mgを、移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)
II-155	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	下記のような場合の心臓移植後の拒絶反応の予防並びに治療(成人) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	成人 20mgを移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-156	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	下記のような場合の肺移植後の拒絶反応の予防並びに治療(成人) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	成人 20mgを移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-158	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	下記のような場合の膵臓移植後の拒絶反応の予防並びに治療(成人) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	成人 20mgを移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-159	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	下記のような場合の小腸移植後の拒絶反応の予防並びに治療(成人) ・腎機能低下例 ・ステロイド非使用が好ましい例(C型肝炎陽性例、小児など) ・その他、カルシニューリン阻害薬(CNIを一時的に中止又は減量しなければならない時	成人 20mgを移植手術2時間前と移植後4日目の2回投与する。 本薬剤に対する重篤な過敏反応や移植片が生着しなかったときには二回目の投与は行わない。	日本移植学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-160	バソプレシン	婦人科手術(子宮筋腫核出術、子宮外妊娠手術、卵巣嚢胞摘出術)における子宮・卵管・卵巣への局注による手術部位の出血量の減少	バソプレシンとして20単位/1mlを99mlの蒸留水で希釈後、術野に局所注射する。	公益社団法人 日本産科婦人科学会	第一三共株式会社	B	循環器WG
II-166	バルガンシクロビル塩酸塩	先天性CMV感染症	16 mg/kg/回 x 2回/日 x 6週間	日本小児感染症学会	田辺三菱製薬株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症WG)

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-167	バルガンシクロビル塩酸塩	下記におけるサイトメガロウイルス感染症 免疫健全者に発症するサイトメガロウイルス 網膜炎・虹彩炎・虹彩毛様体炎・ぶどう膜炎・ 角膜内皮炎	<初期治療> 通常、成人にはバルガンシクロビルとして1 回900mg(450mg錠2錠)を1日2回、食後に 経口投与する。 <維持治療> 通常、成人にはバルガンシクロビルとして1 回900mg(450mg錠2錠)を1日1回、食後に 経口投与する	財団法人 日本眼科学会	田辺三菱製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-174	人免疫グロブリン	HLA抗体保有患者に対する同種造血幹細胞 移植における拒絶予防	1日400mg/kg、5日間点滴静注	日本造血細胞移植学会	一般財団法人 化学及血 清療法研究所 株式会社ベネシス	B	代謝・その他WG
II-182	ピラルビシン	神経芽腫、肝芽腫および肝原発悪性腫瘍	I法(3~4週)1回法 :1日1回40~60mg/m ² 、3~4週間休薬、静注 または、点滴静注、または、24時間静注 II法(3~4週)2回法:1日1回20~30mg/m ² 2日間連日、3~4週間休薬、静注または、点 滴静注、または48時間静注	日本小児血液学会 日本小児 がん学会 (一部、日本臨床腫 瘍学会を含む)	日本マイクロバイオファーマ株式会社 Meiji Seikaファルマ株式 会社	B	抗がんWG(小児WG)
II-184	ピルフェニドン	特発性肺線維症(IPF)以外の進行性線維化 型間質性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎に 対する線維化の進行抑制、肺活量の減少抑 制。	1日3回、1200-1800mg/日連日服用する。	日本呼吸器学会	塩野義製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-185	ピロカルピン塩酸塩	薬剤性口腔乾燥症	1日3回毎食後内服 1回用量5mg、1日用量15mg	日本歯科薬物療法学会	キッセイ薬品工業株式会 社	B	精神・神経WG
II-188	フィルグラスチム	顆粒球輸血療法ドナーにおける顆粒球採取 を目的とした顆粒球の末梢血への動員	10 μg/kg	日本造血細胞移植学会	協和発酵キリン株式会社	B	生物WG
II-198	ブレンタキシマブ・ベドチン	CD30陽性の再発・難治性ホジキンリンパ腫	通常、3週間に1回、brentuximab vedotinと して1回1.8 mg/kg(体重)を30分以上かけて点 滴静注する。	リンパ網内系学会	武田バイオ開発センター 株式会社 武田薬品工業株式会社	A	抗がんWG(小児WG)
II-199	ブレンタキシマブ・ベドチン	CD30陽性の再発・難治性未分化大細胞リン パ腫	通常、3週間に1回、brentuximab vedotinと して1回1.8 mg/kg(体重)を30分以上かけて点 滴静注する。	リンパ網内系学会	武田バイオ開発センター 株式会社 武田薬品工業株式会社	A	抗がんWG(小児WG)
II-201	プロプラノロール	小児血管腫	はじめの1週間は、1日量1mg/kgを3回に分 けて内服する。2週以降は2mg/kgに増量す る。6-9ヶ月間続ける。	日本耳鼻咽喉科学会	アストラゼネカ株式会社	B	小児WG(循環器WG)
II-205	ペグアスパラガーゼ	L-アスパラギナーゼ製剤に過敏症を有する 悪性リンパ腫	1日量体表面積1m ² あたり2500 IUを2週に1 回筋注または静注投与する。	リンパ網内系学会	協和発酵キリン株式会社	B	抗がんWG
II-206	ペグインターフェロン アルファ-2a	門脈腫瘍栓を伴う進行肝細胞癌の自覚的並 びに他覚的症状の緩解	インターフェロン併用5-FU動注療法:肝動 脈内に挿入されたカテーテルより投与する5 -FUとの併用において通常、成人にはペグ インターフェロン アルファ-2a(遺伝子組換 え)として1回90 μgを週1回、2週間皮下に 投与し、以後2週間は休薬する。	特定非営利活動法人日本臨床 腫瘍学会	中外製薬株式会社	B	抗がんWG
II-208	ベバシズマブ	未熟児網膜症における活動性の高い網膜 の新生血管の発生および増殖、血管新生緑 内障の抑制	症状に応じ0.25mg(0.025ml)~0.5mg(0.05ml) を硝子体内へ直接注射	財団法人 日本眼科学会	中外製薬株式会社	B	精神・神経WG(小児WG)
II-209	ベバシズマブ	視神経乳頭もしくは網膜新生血管に対する 治療(とくに非虚血性の新生血管の場合)	1mg(40 μl) 硝子体内注射	財団法人 日本眼科学会	中外製薬株式会社	B	精神・神経WG(小児WG)

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-211	ヘパリンカルシウム	血栓素因者の血栓治療および予防としてヘパリンカルシウム5000単位12時間毎(10,000単位/日)の自己注射の追加	血栓塞栓症の予防として本剤を5000単位12時間毎(10,000単位/日)に皮下注射する。 ※自己注射の追加	公益社団法人 日本産科婦人科学会	沢井製薬株式会社 持田製薬株式会社	B	循環器WG
II-212	ヘパリンカルシウム	深部静脈血栓症、肺塞栓症に対する在宅自己皮下注射	既にカプロシンで得られている適応と同じ。 ※自己注射の追加	特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会	沢井製薬株式会社	B	循環器WG
II-217.1	ベンダムスチン塩酸塩	慢性リンパ性白血病、サリドマイド又はボルテゾミブを含む治療ができない未治療の多発性骨髄腫(Durie-Salmon分類病期IIで増悪がある、又は分類病期III)	慢性リンパ性白血病の場合、4週を1サイクルとし、Day1及びDay2にベンダムスチン塩酸塩100 mg/m ² を静脈内投与する。多発性骨髄腫の場合、4週を1サイクルとし、Day 1及びDay 2にベンダムスチン塩酸塩120～150 mg/m ² を静脈内投与、Day 1からDay 4までプレドニゾン60 mg/m ² を静脈内又は経口投与する。	特定非営利活動法人グループ・ネクサス	シンバイオ製薬株式会社	B	抗がんWG
II-217.2	ベンダムスチン塩酸塩	慢性リンパ性白血病	4週間を1サイクルとし、1日目及び2日目にベンダムスチン塩酸塩100 mg/m ² を30分から60分かけて静脈内投与する。	リンパ網内系学会	シンバイオ製薬株式会社	B	抗がんWG
II-218	ホスカルネットナトリウム水和物	造血細胞移植後のヒトヘルペスウイルス(human herpesvirus, HHV)-6による中枢神経感染症の治療	1回60mg/kgを1日3回または1回90mg/kgを1日2回点滴静注	日本造血細胞移植学会	アストラゼネカ株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-221	ポラプレジック	味覚異常	経口、1～3g/日、年齢症状により適宜増減する。	日本神経学会	ゼリア新薬工業株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)
II-224	ホリナートカルシウム	造血細胞移植後GVHD予防療法における短期間メソトレキサートの毒性軽減	移植後1日目、3日目、6日目、及び11日目に投与されるMTXに対して、ロイコボリン(Lv)としてMTXと同量(1:1)をそれぞれ、1日目、3日目にはMTX投与後12時間より6時間おきに3回、及び6日目、11日目にはMTX投与後24時間より6時間おきに3回投与。	日本造血細胞移植学会	ファイザー株式会社	B	代謝・その他WG(小児WG)
II-225	ボルテゾミブ	HLA抗体保有患者に対する同種造血幹細胞移植における拒絶予防	ボルテゾミブ1.3mg/m ² (体表面積)を週2回、2週間(1、4、8、11日目)静脈内に投与した後、10日間休薬(12～21日目)する。この3週間を1サイクルとし、必要に応じて投与を繰り返す。	日本造血細胞移植学会	ヤンセン ファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-226	ボルテゾミブ	臓器移植における抗体関連型拒絶反応の治療	1日1回、ボルテゾミブとして1.3mg/m ² (体表面積)を週2回、4回静脈内に投与する。本剤は最低72時間空けて投与すること。1回投与量及び投与回数は抗体価により適宜増減する。	日本移植学会	ヤンセン ファーマ株式会社	B	代謝・その他WG
II-227	マイトマイシンC	喉頭気管狭窄症	0.04% マイトマイシンC溶液(0.4mg/ml)を狭窄部の手術後の創傷部に塗布する。	日本耳鼻咽喉科学会	協和発酵キリン株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症WG)
II-228.1	ミカファンギンナトリウム	カンジダ属による下記感染症 真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症	通常、小児(新生児を含む)にはミカファンギンナトリウムとして1mg(力価)/kgを1日1回点滴静注する。重症または難治性カンジダ症には症状におうじて増量できるが、1日6mg(力価)/kgを上限とする。 ※新生児の用法用量の追加	日本未熟児新生児学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症WG)

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-228.2	ミカファンギンナトリウム	カンジダ属による下記感染症: 真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症、 造血幹細胞移植患者におけるカンジダ症の 予防	カンジダ症:通常小児(新生児を含む)には、 ミカファンギンナトリウムとして1mg(力価)/kg を1日1回点滴静注する。 造血幹細胞移植患者におけるカンジダ症の 予防: 小児(新生児を含む)にはミカファンギンナトリ ウムとして1mg(力価)/kgを1日1回点滴静 注する。 ※新生児の用法用量の追加	日本小児感染症学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症 WG)
II-229	ミカファンギンナトリウム	アスペルギルス属による下記感染症 真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症	通常、小児(新生児を含む)にはミカファンギ ンナトリウムとして1mg(力価)/kgを1日1回点 滴静注する。重症または難治性アスペルギ ルス症には症状におうじて増量できるが、1 日6mg(力価)/kgを上限とする。 ※新生児の追加	日本未熟児新生児学会	アステラス製薬株式会社	B	小児WG(抗菌・抗炎症 WG)
II-239	メトトレキサート	眼内悪性リンパ腫に対して、全脳照射を含 む眼部への放射線治療歴のある症例、眼合 併症などで放射線治療が不可能な症例に対 する治療	メトトレキサート 400ug/0.1ml/1回、開始直後 は週2回硝子体内投与を1ヶ月、その後は週 1回投与を1ヶ月、さらに月1回投与を8ヶ月 継続する。	財団法人 日本眼科学会	ファイザー株式会社	B	抗がんWG
II-244	メトロニダゾール	誤嚥性肺炎、嫌気性菌性肺炎	250-500mg 1日3-4回 静注	日本呼吸器学会	ファイザー株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-245	メトロニダゾール	誤嚥性肺炎、嫌気性菌性肺炎	250-500mg 1日3-4回 内服	日本呼吸器学会	塩野義製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-249	モノエタノールアミノレイン酸塩 注	胃静脈瘤出血の止血及び胃静脈瘤の硬化 退縮	バルーン閉塞下逆行性経静脈瘤硬化療法 に用いる場合 用時、1バイアルあたり10mLの血管造影用X 線造影剤を加えて5%溶液に調製する。 通常、成人には静脈から逆行性に胃静脈瘤 の排血路にバルーンカテーテルを挿入し、バ ルーンを拡張させ排出路を閉塞させた後、カ テーテルを通じて胃静脈瘤内に投与する。注 入量は静脈瘤の状態及び患者の病態により 適宜増減するが、1回あたりの総注入量は 20mL以内とする。	日本消化器病学会	富士化学工業株式会社	B	代謝・その他WG
II-255	ラニビズマブ	未熟児網膜症における活動性の高い網膜 の新生血管の発生および増殖、血管新生緑 内障を抑制する。	症状に応じ0.25mg(0.025ml)~0.5mg(0.05ml) を 硝子体内へ直接注射	財団法人 日本眼科学会	ノバルティスファーマ株式 会社	B	精神・神経WG(小児WG)
II-256	ラパチニブトシル酸塩水和物	閉経後女性におけるホルモン受容体陽性 HER2陽性転移・再発乳癌	ラパチニブ1500mgとホルモン剤(アロマトー ゼ阻害剤)の併用療法	日本乳癌学会	グラクソ・スミスクライン株 式会社	B	抗がんWG
II-257	ラパチニブトシル酸塩水和物	HER2陽性転移・再発乳癌	ラパチニブ1000mgとトラスツズマブの併用療 法	日本乳癌学会	グラクソ・スミスクライン株 式会社	B	抗がんWG
II-258	ラパチニブトシル酸塩水和物	HER2陽性転移・再発乳癌	ラパチニブ1500mg単独療法	日本乳癌学会	グラクソ・スミスクライン株 式会社	B	抗がんWG
II-265	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ステロイド抵抗性慢性移植片対宿主病	375mg/m2を1週間に1回、4週間まで	日本造血細胞移植学会	全薬工業株式会社	B	代謝・その他WG
II-267	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ABO血液型不適合肝移植における抗体関 連型拒絶反応の抑制(小児)	リツキシマブ 375mg/m2を肝移植前及び当 日に合計1回から3回投与する	日本移植学会	全薬工業株式会社	B	代謝・その他WG(小児 WG)
II-269	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ABO血液型不適合肝移植における抗体関 連型拒絶反応の抑制(成人)	リツキシマブ 375mg/m2を肝移植前及び当 日に合計1回から3回投与する	日本移植学会	全薬工業株式会社	B	代謝・その他WG

検討の対象外の要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG
II-284	ロキソプロフェンナトリウム水和物	顎関節症	1回60mg 1日3回、屯用1回60mg-120mg	日本歯科薬物療法学会	第一三共株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-287	ロラゼパム(注射薬)	集中治療の人工呼吸中の鎮静	0.05-0.1mg/kg 静注 0.025-0.05mg/kg/hr 持続静注	小児救急医学会	該当企業無し	B	精神・神経WG(小児WG)
II-288	ロルノキシカム	歯痛	成人に1回1錠(ロルノキシカムとして4mg) 1日3回経口投与。頓用の場合は、1回2錠(ロルノキシカムとして8mg)を経口投与。	日本歯科薬物療法学会	大正製薬株式会社	B	抗菌・抗炎症WG
II-289	酸化セルロース	鼻出血止血	鼻出血部位に貼付する。	日本耳鼻咽喉科学会	ジョンソン エンド ジョンソン株式会社	B	小児WG(生物WG)